

平成25年度

武蔵野市予算の概要

確かな未来へ 活力と創造性のある都市をつくる予算

平成25年2月

武蔵野市

目 次

1	編成方針	1
2	予算のポイント	1
3	予算規模	2
	(1)一般会計予算規模	2
	(2)会計別予算規模	3
	(3)水道事業会計予算規模	5
4	予算の状況（一般会計）	6
	(1)歳入の概要	6
	(2)歳出の概要	9
	(3)基金と市債	13
5	複数年度にわたる建設事業	15
6	特徴ある事業	20
	I 健康・福祉	21
	II 子ども・教育	24
	III 文化・市民生活	28
	IV 緑・環境	35
	V 都市基盤	38
	VI 行・財政	43

1 編成方針

平成25年度予算は、「確かな未来へ 活力と創造性のある都市をつくる予算」と位置付け、第五期長期計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら持続可能な市政運営を行っていくため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基本に予算を編成した。

また、効率的な行政経営を目指し健全な財政運営を維持するため、事務事業及び補助金の見直しを継続的に実施したほか、経常経費では、前年度予算から不用額等を減額した額を上限とする枠配分方式を引き続き実施するなど、内部努力による経費の節減を行った。

2 予算のポイント

I 健康・福祉

地域リハビリテーション推進事業 / サービス基盤整備事業 / 権利擁護事業
障害者実態調査 / がん検診受診率向上事業

II 子ども・教育

泉幼稚園跡地利用施設の建設 / 待機児童対策の推進
情緒障害等通級指導学級の設置 / 子ども文化・スポーツ体験活動事業

III 文化・市民生活

平和啓発事業 / 地域のつながりの共有とコミュニティセンターの機能の検討
吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策 / 歴史資料館（仮称）の整備
国体・障害者スポーツ大会推進事業 / 観光推進事業の強化

IV 緑・環境

多様な資源の効率的利用モデル検討 / 太陽光発電システム等設置・促進事業
新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業 / 水と緑のネットワーク事業

V 都市基盤

合流式下水道改善施設設置事業 / 吉祥寺駅改良整備事業
交通バリアフリー事業 / 武蔵境駅周辺整備事業 / 景観まちづくりの展開

VI 行・財政

公共施設再編の検討 / 新しいメディアへの対応・活用による広報の推進

3 予算規模

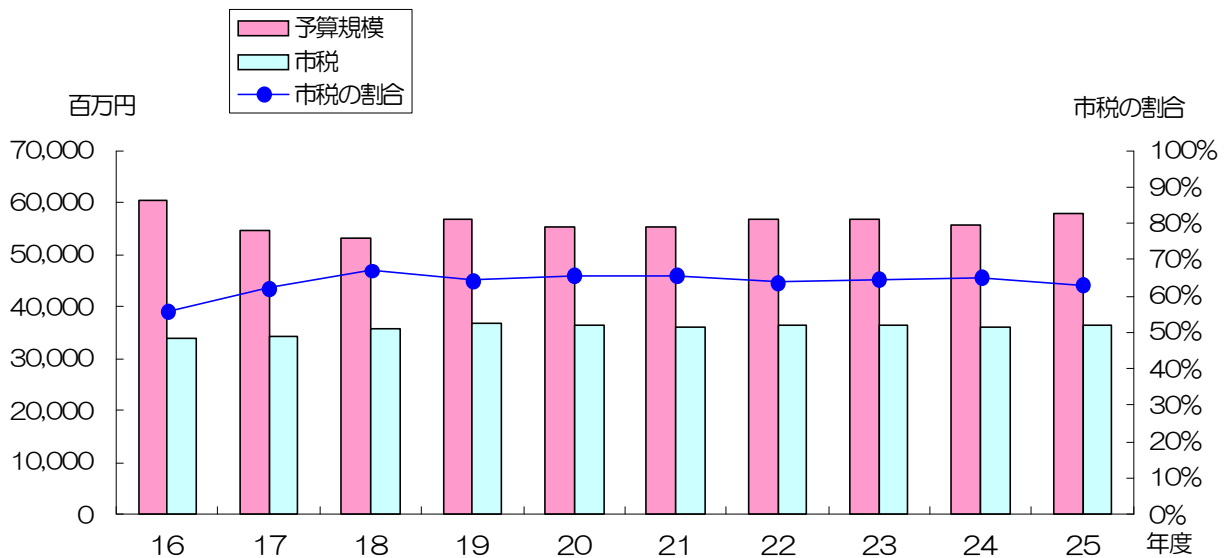
一般会計の予算規模は、障害者自立支援給付等事業や生活保護法に基づく給付などの社会保障関係予算の増や、都計道3・3・23号線事業、新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業や泉幼稚園跡地利用施設事業、吉祥寺駅改良整備事業等の建築事業費の増により、前年度比3.8%、21億4,000万円増の総額577億9,000万円となった。

(1) 一般会計予算規模

(単位：千円)

	平成25年度	平成24年度	比較	増減率(%)	
				25年度	24年度
一般会計	57,790,000	55,650,000	2,140,000	3.8	△ 2.1

一般会計予算規模と市税の推移



(単位：百万円)

年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
予算規模	60,300	54,800	53,100	56,950	55,280	55,200	56,940	56,830	55,650	57,790
伸び率	11.0	△ 9.1	△ 3.1	7.3	△ 2.9	△ 0.1	3.2	△ 0.2	△ 2.1	3.8
市税	33,700	34,129	35,608	36,670	36,268	36,257	36,341	36,622	36,262	36,407
伸び率	△ 3.7	1.3	4.3	3.0	△ 1.1	0.0	0.2	0.8	△ 1.0	0.4
市税の割合	55.9%	62.3%	67.1%	64.4%	65.6%	65.7%	63.8%	64.5%	65.2%	63.0%

※ 平成16年度の予算規模は減税補てん債借換債を含んだ金額

【主な増減内容】

- 増**
- 都市計画道路 3・3・23号線（武蔵境駅北口広場）事業
 - 新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業
 - 泉幼稚園跡地利用施設事業
 - 吉祥寺駅改良整備事業（南北自由通路設置、北口歩行環境整備）
- 減**
- 八幡町コミュニティセンター建設事業
 - 子ども協会立北町保育園移転改築事業補助金
 - 庁舎給排水管改修事業

（２）会計別予算規模

一般会計に特別会計を合わせた武蔵野市全体の予算規模は、総計で902億1,400万円、一般会計から特別会計への繰出金及び特別会計から一般会計への繰出金を除いた純計では846億9,800万円となった。

（単位：千円）

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	増減率（%）	
				25年度	24年度
一 般 会 計	57,790,000	55,650,000	2,140,000	3.8	△ 2.1
下 水 道 事 業 会 計	6,622,032	4,105,870	2,516,162	61.3	45.7
国民健康保険事業会計	12,670,756	12,182,455	488,301	4.0	4.3
後期高齢者医療会計	3,160,753	3,067,016	93,737	3.1	7.2
介護保険事業会計	9,970,254	9,662,467	307,787	3.2	0.0
総 計	90,213,795	84,667,808	5,545,987	6.6	1.0
純 計	84,697,931	79,229,777	5,468,154	6.9	0.7

【参考】

（単位：億円）

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	増減率（%）	
				25年度	24年度
国 の 一 般 会 計	926,115	903,339	22,776	2.5	△ 2.2
東京都の一般会計	62,640	61,490	1,150	1.9	△ 1.4

【特別会計の主な増減理由】

下水道事業会計

予算額は66億2,200万円で、前年度比61.3%、25億1,600万円の増となった。

歳入では、ここ数年の有収水量の減少傾向を考慮し下水道使用料を減する一方、下水道建設事業費の増に伴う国・都支出金及び市債の増を見込んだ。歳出では、主に合流式下水道改善施設設置事業、雨水貯留施設設置事業、女子大通り管きょ更生工事等の増により、下水道建設費が大きく増加した。

国民健康保険事業会計

予算額は126億7,100万円で、前年度比4.0%、4億8,800万円の増となった。

歳入では、被保険者数及び保険税の減と国庫支出金と都支出金及び前期高齢者交付金の増を見込んだ。歳出では、高齢化や一人当たりの給付費が増加するのに伴い、保険給付費、後期高齢者支援金が増加した。

後期高齢者医療会計

予算額は31億6,100万円で、前年度比3.1%、9,400万円の増となった。

歳入では、保険料の増を見込んだ。歳出では、被保険者数及び一人当たりの給付費が増加するのに伴い、後期高齢者医療広域連合に対する分賦金が増加した。

介護保険事業会計

予算額は99億7,000万円で、前年度比3.2%、3億800万円の増となった。

歳入では、国庫支出金、都支出金における介護給付費負担金の増、支払基金交付金及び介護給付費等準備基金からの繰入金（基金取崩による歳入）の増、財政安定化基金交付金の減を見込んだ。歳出では、認定者数の増加により保険給付費の増を見込んだ。

(3) 水道事業会計予算規模

業務予定量は、給水栓数 8 万 5,000 栓、年間総給水量 1,732 万 2,354 立方メートル、1 日平均給水量は、4 万 7,459 立方メートルとした。

収益的収入は水道事業収益 35 億 5,300 万円で、主なものは給水収益 33 億 3,300 万円となった。収益的支出は水道事業費 35 億 1,200 万円で、主なものは原水及び浄水費の中の受水費 14 億 5,800 万円となった。収益的収入から収益的支出を差引いた純利益は 4,100 万円を見込んだ。

資本的収入は 3,700 万円を見込んだ。資本的支出 10 億 4,100 万円の主なものは、配水施設費 5 億 2,000 万円、原水及び浄水施設改良工事費 1 億 6,000 万円で、配水管の新設工事を 540 メートル、古い鑄鉄管の改良工事を 1,985 メートル、配水補助管の改良工事を 3,300 メートル行い、その結果、水道管の耐震化率は 44.2%となる見込みである。資本的収入から資本的支出を差引いた 10 億 400 万円の不足額は、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金で補てんする予定である。

(単位：千円)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	増減率 (%)	
				25 年度	24 年度
収益的収入	3,553,037	3,569,795	△ 16,758	△ 0.5	△ 3.6
収益的支出	3,511,633	3,538,927	△ 27,294	△ 0.8	△ 3.6
資本的収入	36,740	72,079	△ 35,339	△ 49.0	25.6
資本的支出	1,041,403	1,010,904	30,499	3.0	△ 1.3

4 予算の状況（一般会計）

（1）歳入の概要

- 市税については、法人市民税の減はあるものの、個人市民税、固定資産税、市たばこ税などの増のため、前年度予算額に比べ約1億4,500万円（0.4%）の増となった。
- 国庫支出金については、社会資本整備総合交付金の増などにより、前年度予算額に比べ約12億6,100万円（19.3%）の増となった。
- 各種基金等からの繰入金が前年度予算額に比べ約4億9,500万円（28.7%）の増、市債が約1億3,200万円（12.7%）の増となった。

（単位：千円）

区 分(款)	平成25年度 予算額 (A)	平成24年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率(%) (C) / (B)	構成比率(%)	
					25年度	24年度
1 市 税	36,407,260	36,262,100	145,160	0.4	63.0	65.2
2 地 方 譲 与 税	175,001	175,001	0	0.0	0.3	0.3
3 利 子 割 交 付 金	200,000	200,000	0	0.0	0.3	0.4
4 配 当 割 交 付 金	100,000	100,000	0	0.0	0.2	0.2
5 株式等譲渡所得割交付金	20,000	20,000	0	0.0	0.0	0.0
6 地方消費税交付金	1,670,000	1,810,000	△ 140,000	△ 7.7	2.9	3.2
7 自動車取得税交付金	100,001	120,001	△ 20,000	△ 16.7	0.2	0.2
8 地方特例交付金	30,000	30,000	0	0.0	0.1	0.1
9 地 方 交 付 税	100	100	0	0.0	0.0	0.0
10 交通安全対策特別交付金	15,000	15,000	0	0.0	0.0	0.0
11 分担金及び負担金	378,923	333,828	45,095	13.5	0.7	0.6
12 使用料及び手数料	1,516,796	1,456,654	60,142	4.1	2.6	2.6
13 国 庫 支 出 金	7,792,808	6,531,835	1,260,973	19.3	13.5	11.7
14 都 支 出 金	4,764,346	4,366,918	397,428	9.1	8.2	7.8
15 財 産 収 入	97,821	101,764	△ 3,943	△ 3.9	0.2	0.2
16 寄 附 金	100	100	0	0.0	0.0	0.0
17 繰 入 金	2,221,635	1,726,883	494,752	28.7	3.8	3.1
18 繰 越 金	700,000	700,000	0	0.0	1.2	1.3
19 諸 収 入	432,409	663,716	△ 231,307	△ 34.9	0.8	1.2
20 市 債	1,167,800	1,036,100	131,700	12.7	2.0	1.9
計	57,790,000	55,650,000	2,140,000	3.8	100.0	100.0

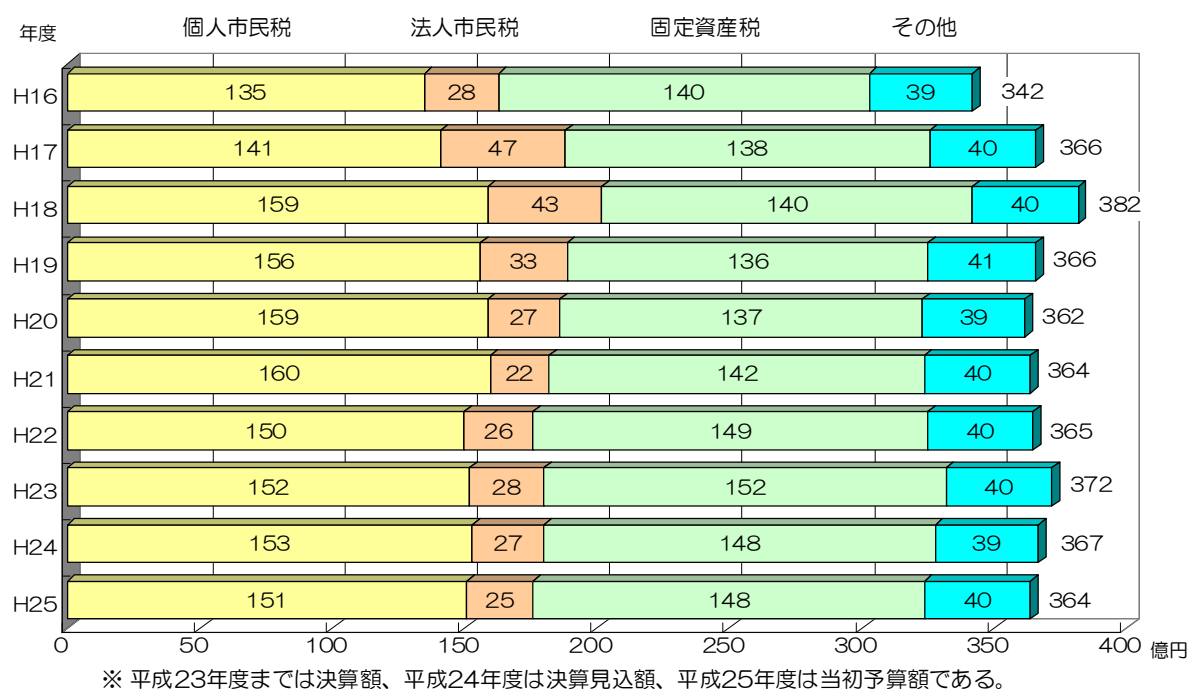
○ 市税の状況

平成25年度の市税収入は約364億700万円、前年度当初予算額に比べ約1億4,500万円（0.4%）の増となった。

個人市民税は、景気の動向や給与所得の低迷による減が見込まれるものの、大型マンション完成により納税者が増えると見込まれるため増を見込む。法人市民税については、法人実効税率の引き下げの影響による減を見込む。固定資産税は、土地については用途変更により微減、償却資産については既存資産の減価償却による減を見込むが、家屋について大型マンションの新築による増が見込まれるため、全体では増を見込む。

区分（税目）	平成25年度 予算額	平成24年度 予算額	比較	増減率（%）	
				25年度	24年度
市民税 個人	15,119,800	14,938,200	181,600	1.2	△ 1.5
市民税 法人	2,505,000	2,716,600	△ 211,600	△ 7.8	5.6
固定資産税	14,768,800	14,701,600	67,200	0.5	△ 1.7
軽自動車税	35,360	35,100	260	0.7	△ 2.7
市たばこ税	1,041,000	947,000	94,000	9.9	2.5
入湯税	0	0	0	0.0	△ 100.0
事業所税	583,000	585,000	△ 2,000	△ 0.3	3.2
都市計画税	2,354,300	2,338,600	15,700	0.7	△ 2.6
計	36,407,260	36,262,100	145,160	0.4	△ 1.0

市税額の推移



【その他の主な費目の増減内容】

地方消費税交付金

都道府県間における清算後の地方消費税収入額が交付される。

消費税は国分4%と併せて地方分1%が徴収されており、地方分の2分の1が都道府県に、残りの2分の1が人口と従業者数の割合で市町村に交付されるもので、1億4,000万円、7.7%の減となった。

自動車取得税交付金

自動車取得税の一部が市道の延長や面積に応じて交付される。

自動車取得税から徴税費の額を控除した額の70%相当額を市道の延長及び面積によって按分した額が市町村に交付されるもので、2,000万円、16.7%の減となった。

国庫支出金

国から市への支出金で、法令により負担義務を負う負担金、奨励的、財政援助的に交付される補助金、本来国が行う事務を便宜上行った場合の委託金がある。

子ども手当負担金などの減があるものの、社会資本整備総合交付金、児童手当負担金、障害者自立支援給付費等負担金、学校施設環境改善交付金などの増により、約12億6,100万円、19.3%の増となった。

都支出金

都から市への支出金で、国庫支出金同様、負担金、補助金、委託金がある。

保育所緊急整備事業補助金、緊急雇用創出事業補助金などの減があるものの、市町村総合交付金、緊急輸送道路沿道建築物耐震化補助金、障害者自立支援給付費等都負担金などの増により、約3億9,700万円、9.1%の増となった。

繰入金

市の貯金である基金から取り崩して事業に充てる基金繰入金と、特別会計から入る特別会計繰入金がある。

吉祥寺まちづくり基金繰入金、鉄道連続立体交差化整備基金繰入金、公共施設整備基金繰入金などの増により、約4億9,500万円、28.7%の増となった。

市債

市の借金にあたるもの。投資的経費等に必要なる財源を調達するために借入れを行う。

庁舎給排水管等改修事業債などの減があるものの、泉幼稚園跡地利用施設事業債、新クリーンセンター(仮称)建設事業債などの増により、全体では1億3,200万円、12.7%の増となった。

(2) 歳出の概要

- 武蔵野市行財政改革アクションプランや職員定数適正化計画等に基づき、事務事業の見直し及び補助金の廃止・縮減を行ったほか、枠配分方式を引き続き実施し経費節減を図った。
- 目的別分類では、土木費が前年度と比べ11億7,200万円、16.3%の増となっている。民生費は、全体の4割を占めており、前年度比3.2%の増となった。また、性質別分類においては、公共施設の建設や用地買収の経費である投資的経費が前年度と比べ19.9%増となっている。

① 目的別分類

目的別分類は、歳出をその行政目的に応じて区分するもので、予算の「款」を基準としている。

区 分 (款)	平成 25 年度 予算額 (A)	平成 24 年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)	
					25 年度	24 年度
1 議 会 費	493,835	501,052	△ 7,217	△ 1.4	0.8	0.9
2 総 務 費	8,075,583	8,207,614	△ 132,031	△ 1.6	14.0	14.7
3 民 生 費	23,333,794	22,619,798	713,996	3.2	40.4	40.6
4 衛 生 費	5,685,257	5,471,041	214,216	3.9	9.8	9.8
5 労 働 費	37,713	33,434	4,279	12.8	0.1	0.1
6 農 業 費	72,502	65,966	6,536	9.9	0.1	0.1
7 商 工 費	463,094	452,746	10,348	2.3	0.8	0.8
8 土 木 費	8,348,147	7,175,740	1,172,407	16.3	14.4	12.9
9 消 防 費	2,187,758	2,095,343	92,415	4.4	3.8	3.8
10 教 育 費	6,362,619	6,137,013	225,606	3.7	11.0	11.0
11 公 債 費	2,481,773	2,646,661	△ 164,888	△ 6.2	4.3	4.8
12 諸 支 出 金	147,925	143,592	4,333	3.0	0.3	0.3
13 予 備 費	100,000	100,000	0	0.0	0.2	0.2
計	57,790,000	55,650,000	2,140,000	3.8	100.0	100.0

【主な費目の増減内容】

総 務 費

庁舎管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員に要する経費など市の全般的な管理に必要な経費

コミュニティセンター施設改修工事費7,000万円、住民情報系システム再構築委託費3,900万円などの増はあるものの、庁舎給排水管改修工事費2億2,400万円、八幡町コミュニティセンター建設費1億1,800万円、市民文化会館設備等改修費6,600万円などの減により、1億3,200万円、1.6%の減となった。

民 生 費

社会福祉、児童福祉、生活保護など、一定水準の生活を保障するために必要な経費

子ども協会立北町保育園移転改築事業補助金 1 億8,700万円、高齢者総合センター施設改修費7,300万円等の減があるものの、障害者自立支援給付等事業 3 億4,400万円、泉幼稚園跡地利用施設事業費 1 億9,300万円、認証保育所運営費等補助金9,900万円などの増により、7 億1,400万円、3.2%の増となった。

衛 生 費

保健衛生や環境対策、ごみ処理などに必要な経費

クリーンセンター焼却・粗大施設改修費8,700万円、クリーンセンター焼却灰輸送費600万円などの減があるものの、新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業費 2 億400万円、ミカレット吉祥寺新設負担金4,500万円、未熟児養育医療給付事業 2,600万円、予防接種医薬材料費2,500万円などの増により、2 億1,400万円、3.9%の増となった。

土 木 費

都市計画や道路・公園等の維持・整備などに必要な経費

鉄道連続立体交差事業土地購入費 2 億7,500万円、景観道路事業電線共同溝設置工事費 1 億5,000万円などの減があるものの、都市計画道路 3・3・23号線事業土地購入費13億900万円、吉祥寺駅南北自由通路整備負担金 3 億6,000万円、吉祥寺駅北口歩行環境整備負担金 2 億9,200万円、緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成金 1 億8,500万円などの増により、11億7,200万円、16.3%の増となった。

教 育 費

学校教育や生涯学習などに必要な経費

肢体不自由学級施設改修工事費4,300万円、給食調理業務委託費3,500万円、武蔵野プレイス管理運営委託費2,700万円などの減があるものの、小中学校校舎等改修工事費 1 億3,800万円、総合体育館施設改修工事費4,600万円、給食調理場施設改修工事費4,300万円などの増により、2 億2,600万円、3.7%の増となった。

公 債 費

地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

据置期間が経過し元金の返済（武蔵野プレイス建設事業、桜野小学校校舎増築等）が開始されることによる増があるが、過年度分の償還終了（中道公園及び関前公園用地買収、中央図書館建設等）による減があり、1 億6,500万円、6.2%の減となった。

② 性質別分類

性質別分類は、経済的性質を基準として分類するもので、義務的経費、投資的経費等に分けられる。

(単位：千円)

区分	平成 25 年度 予算額 (A)	平成 24 年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)		
					25 年度	24 年度	
義務的経費	人件費	9,537,860	9,843,835	△ 305,975	△ 3.1	16.5	17.7
	扶助費	11,805,593	10,981,869	823,724	7.5	20.4	19.7
	公債費	2,481,773	2,646,661	△ 164,888	△ 6.2	4.3	4.8
小計	23,825,226	23,472,365	352,861	1.5	41.2	42.2	
物件費	13,728,047	13,848,967	△ 120,920	△ 0.9	23.8	24.9	
補助費等	7,104,144	6,294,968	809,176	12.9	12.3	11.3	
繰出金	5,299,952	5,224,976	74,976	1.4	9.2	9.4	
投資的経費	7,105,235	5,923,975	1,181,260	19.9	12.3	10.6	
その他	727,396	884,749	△ 157,353	△ 17.8	1.2	1.6	
計	57,790,000	55,650,000	2,140,000	3.8	100.0	100.0	

※ 義務的経費とは、歳出のうち、支出が義務付けられており任意に削減できない経費で、一般的に人件費・扶助費・公債費の合計額をさす。

人 件 費

報酬、給料、職員手当、共済費などの経費

退職手当 1 億 2,700 万円、超過勤務手当 1,200 万円などの増はあるものの、職員給 2 億 3,500 万円、期末勤勉手当 8,800 万円、住居手当 5,300 万円、地域手当 4,100 万円などの減により、3 億 600 万円、3.1%の減となった。

扶 助 費

生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づいて支給する経費

児童手当支給事業費 8,400 万円などの減があるものの、民間保育所運営委託費 4 億 2,300 万円、障害者自立支援給付事業費 3 億 4,200 万円、生活保護法による扶助事業費 9,300 万円などの増により 8 億 2,400 万円、7.5%の増となった。

公 債 費

地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

据置期間が経過し元金の返済（武蔵野プレイス建設事業、桜野小学校校舎増築等）が開始されることによる増があるが、過年度分の償還終了（中道公園及び関前公園用地買収、中央図書館建設等）による減があり、1 億 6,500 万円、6.2%の減となった。

物件費

賃金、旅費、交際費、消耗品費、役務費、備品購入費、委託料、使用料などの経費

住民情報系システム再構築委託費3,900万円、自転車駐車場土地借上料3,900万円などの増があるものの、市立保育園運営事業賃金6,500万円、給食調理業務委託費3,500万円、プレこども園運営事業委託費3,500万円などの減により、1億2,100万円、0.9%の減となった。

補助費等

市民や各種団体などに対する補助金などの経費

認定こども園職員体制整備補助金3,500万円、介護保険施設等整備事業建設費補助金1,500万円などの減があるものの、子ども協会保育園事業補助金2億8,000万円、緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成金1億8,500万円、境こども園代替事業補助金1億6,100万円の増などにより、8億900万円、12.9%の増となった。

繰出金

一般会計と特別会計相互間で支出される経費

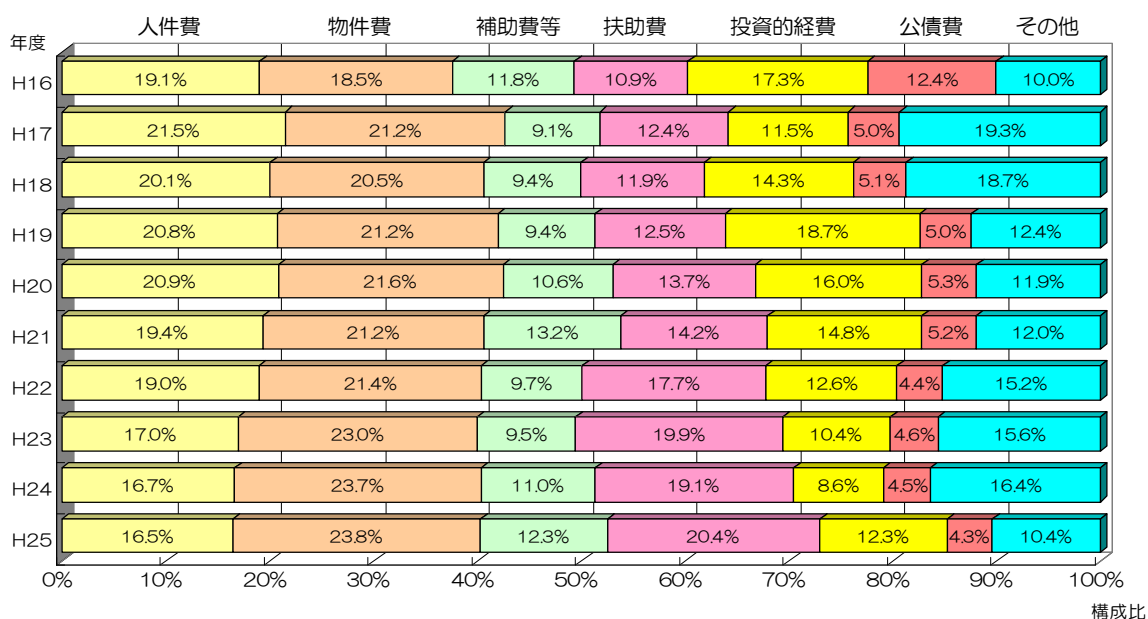
下水道事業会計繰出金8,100万円の減はあるものの、国民健康保険事業会計繰出金8,000万円、後期高齢者医療会計繰出金5,200万円の増などにより、7,500万円、1.4%の増となった。

投資的経費

道路、公園、学校、文教施設など公共施設の建設、用地購入等に要する経費

武蔵境連続立体交差事業土地購入費2億7,500万円、庁舎改修工事費2億2,400万円などの減はあるものの、都市計画道路3・3・23号線土地購入費13億900万円、吉祥寺駅南北自由通路整備負担金3億6,000万円、吉祥寺駅北口歩行環境整備負担金2億9,200万円、泉幼稚園跡地利用施設事業費1億9,300万円などの増により、11億8,100万円、19.9%の増となった。

性質別の構成比の推移



※ 平成23年度までは決算額、平成24年度は補正後の予算額、平成25年度は当初予算額による構成比である。

(3) 基金と市債

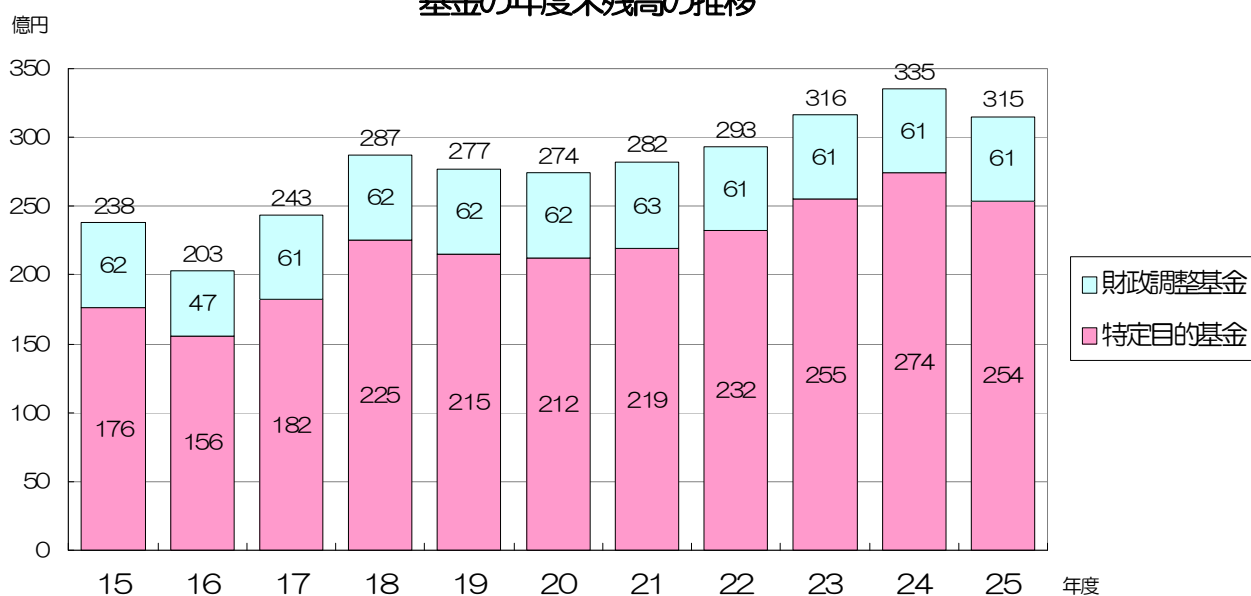
○ 基金の状況

平成25年度の基金取崩予算額は20億600万円、利子収入による積立金は2,700万円、平成25年度末の基金残高は、前年から19億7,300万円減少し、315億2,300万円の見込みとなる。

特定目的基金とは、地方自治体が条例の定めるところにより、学校をはじめ公共施設の建設など特定の目的のために、財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けるものである。また、財政調整基金とは、各年度の収支差額の一部を積み立て、年度間の財源調整を図るためのものである。

なお、平成25年度に基金を充てる主な事業は、泉幼稚園跡地利用施設事業（公共施設整備基金）、小中学校校舎等改修工事（学校施設整備基金）、吉祥寺駅整備事業（吉祥寺まちづくり基金）、公園等建設事業（公園緑化基金）などである。

基金の年度末残高の推移



※平成23年度までは実績額、平成24・25年度は見込額である。

区 分		23年度末残高	24年度末残高 見込み	25年度末残高 見込み	25年度増減 見込み
財 政 調 整 基 金		6,085,383	6,088,958	6,091,508	2,550
特 定 目 的 基 金	公 共 施 設 整 備 基 金	9,546,868	10,941,742	10,286,285	△ 655,457
	学 校 施 設 整 備 基 金	7,039,903	7,253,168	6,932,476	△ 320,692
	吉 祥 寺 ま ち づ くり 基 金	2,802,830	3,207,847	2,810,535	△ 397,312
	公 園 緑 化 基 金	3,986,554	4,132,855	3,946,290	△ 186,565
	そ の 他 の 特 定 目 的 基 金	2,150,589	1,870,706	1,455,443	△ 415,263
合 計		31,612,127	33,495,276	31,522,537	△ 1,972,739

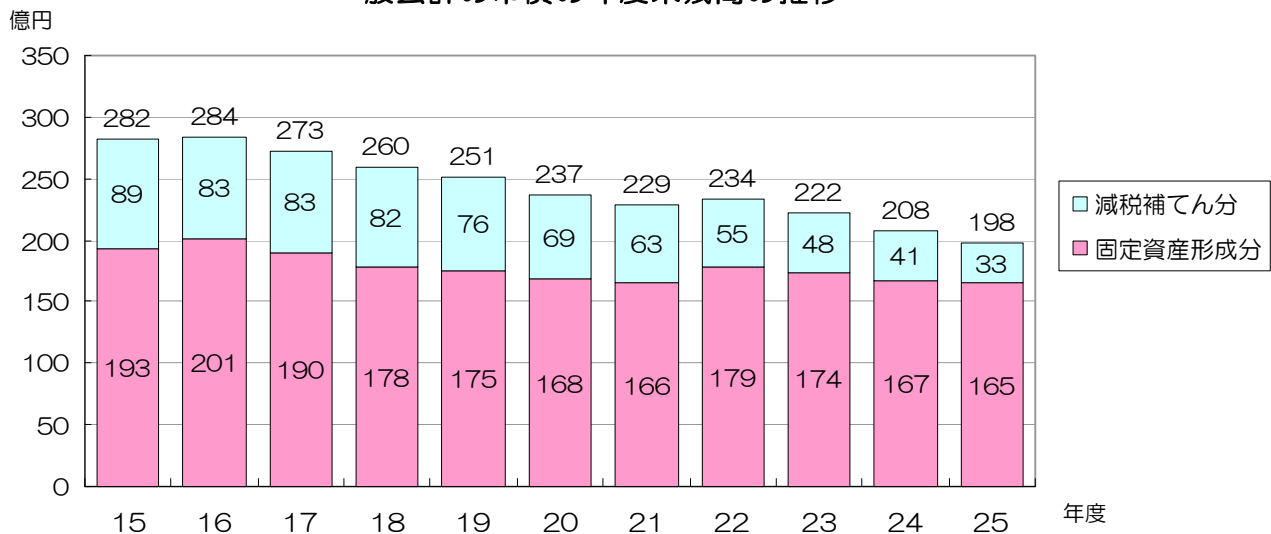
○市債残高の状況

平成25年度末の一般会計市債残高見込みは、前年度から10億200万円減少し、197億7,500万円となる。うち減税補てん債は33億3,500万円。下水道会計市債残高見込みは、前年度から26億4,000万円増加し、80億円となる。

市債（地方債）とは、地方自治体が必要な財源を調達するために負う債務で、その履行が一会計年度を越えて行われるものである。また、減税補てん債とは、地方税の特別減税などによる減収額を補てんするため、特例として認められる市債で、平成18年度に廃止された。

なお、市債は、市有施設などの建設にあたり資金の借入れを行い、その後5年から25年かけて返済していくことにより、建設時点の市民だけでなくその施設を利用する次の世代の市民にも負担を求めるといった政策的な観点より、世代間の公平を保つための方法として位置付けられている。

一般会計の市債の年度末残高の推移



※平成23年度までは実績額、平成24・25年度は見込額である。

特別会計等を含めた借入金の残高一覧表

(単位：千円)

	21年度末残高	22年度末残高	23年度末残高	24年度末残高 見込み	25年度末残高 見込み
一般会計	22,881,273	23,414,780	22,155,118	20,777,123	19,775,062
下水道事業会計	3,591,141	4,234,685	4,314,860	5,351,381	7,995,700
土地開発公社	9,761,063	7,543,921	9,301,240	10,530,221	9,301,101
合計	36,233,477	35,193,386	35,771,218	36,658,725	37,071,863

5 複数年度にわたる建設事業

※平成26年度以降の予定額は現時点での概算額

◎泉幼稚園跡地利用施設事業（子ども家庭課）

(単位：千円)

総事業費		225,352			
年 度	24 決算見込額	25 予算額	26 予定額	計	
事業費		1,800	192,636	30,916	225,352
内 訳	委託料	1,800	6,294	3,300	11,394
	工事請負費		18,988	27,600	46,588
	備品購入費				
	土地購入費		167,340		167,340
	その他		14	16	30
上 記 の 財 源	国庫支出金				
	都支出金		7,000	4,600	11,600
	市債		125,500		125,500
	基金繰入金		50,000		50,000
	一般財源	1,800	10,136	26,316	38,252

※都支出金は子供家庭支援区市町村包括事業補助金

◎新武蔵野クリーンセンター（仮称）整備運営事業 （クリーンセンター）

(単位：千円)

総事業費		22,700,000			
年 度	25 予算額	26以降 予定額	計		
事業費		135,000	22,565,000	22,700,000	
内 訳	委託料				
	工事請負費	135,000	22,565,000	22,700,000	
	備品購入費				
	土地購入費				
	その他				
上 記 の 財 源	国庫支出金	12,604	2,492,080	2,504,684	
	都支出金				
	市債	95,100	4,835,628	4,930,728	
	基金繰入金		530,000	530,000	
	一般財源	27,296	14,707,292	14,734,588	

※国庫支出金は循環型社会形成推進交付金

◎鉄道連続立体交差事業（まちづくり推進課）

（単位：千円）

総事業費		4,668,222						
年 度		7 決算額	8 決算額	9 決算額	10 決算額	11 決算額	12 決算額	13 決算額
事業費		14,303	65,266	86,467	115,607	115,632	152,435	82,965
内訳	負担金	14,303	65,266	86,467	115,607	115,632	152,435	82,965
上記の財源	市 債		63,000	85,900	109,600	98,000	140,000	73,700
	基金繰入金							
	一般財源	14,303	2,266	567	6,007	17,632	12,435	9,265

年 度		14 決算額	15 決算額	16 決算額	17 決算額	18 決算額	19 決算額	20 決算額
事業費		158,248	430,399	363,005	504,194	563,873	477,145	311,177
内訳	負担金	158,248	430,399	363,005	504,194	563,873	477,145	311,177
上記の財源	市 債	152,000	354,000	326,000				
	基金繰入金				500,000	400,000	477,145	280,000
	一般財源	6,248	76,399	37,005	4,194	163,873	0	31,177

年 度		21 決算額	22 決算額	23 決算額	24 決算見込額	25 予算額	計
事業費		329,901	272,140	174,496	181,307	269,662	4,668,222
内訳	負担金	329,901	272,140	174,496	181,307	269,662	4,668,222
上記の財源	市 債						1,402,200
	基金繰入金	280,000	260,000	170,000	170,000	269,000	2,806,145
	一般財源	49,901	12,140	4,496	11,307	662	459,877

**◎ JR 吉祥寺駅南北自由通路整備事業
(吉祥寺まちづくり事務所)**

(単位：千円)

総事業費		457,140		
年 度		24 決算見込額	25 予算額	計
事業費		82,000	375,140	457,140
内訳	負担金	82,000	375,140	457,140
上記の財源	国庫支出金	41,000	187,000	228,000
	都支出金	30,800		30,800
	市 債			
	基金繰入金		160,000	160,000
	一般財源	10,200	28,140	38,340

※国庫支出金は社会資本整備総合交付金、都支出金は市町村総合交付金

**◎ 武蔵境駅舎連続施設（北側）建設事業
(武蔵境開発事務所)**

(単位：千円)

総事業費		496,700		
年 度		24 決算見込額	25 予算額	計
事業費		235,700	261,000	496,700
内訳	委託料	5,700	6,000	11,700
	工事請負費	230,000	255,000	485,000
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上記の財源	国庫支出金	97,350	112,000	209,350
	都支出金	11,250	12,650	23,900
	市 債	61,100	121,000	182,100
	基金繰入金			
	一般財源	66,000	15,350	81,350

※国庫支出金は社会資本整備総合交付金、都支出金は市町村総合交付金

※H24決算見込額には、繰越明許費を含む。

◎都市計画道路 3・3・23号線事業 武蔵境駅北口広場整備事業
(武蔵境開発事務所)

(単位：千円)

総事業費		1,786,000		
年 度		25 予算額	26以降 予定額	計
事業費		1,421,000	365,000	1,786,000
内 訳	委託料	6,000		6,000
	工事請負費	106,000	365,000	471,000
	備品購入費			
	土地購入費	1,309,000		1,309,000
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金	720,000	66,000	786,000
	都支出金	452,275	27,000	479,275
	市 債	133,200		133,200
	基金繰入金	50,000	186,032	236,032
	一般財源	65,525	85,968	151,493

※国庫支出金は社会資本整備総合交付金、都支出金は市町村土木事業補助金・市町村総合交付金

**◎合流式下水道改善事業（吉祥寺東町一丁目地内）
（下水道課）**

（単位：千円）

総事業費		3,368,000		
年 度		24 決算見込額	25 予算額	計
事業費		939,000	2,429,000	3,368,000
内 訳	委託料	939,000	2,429,000	3,368,000
	工事請負費			
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金	289,550	893,450	1,183,000
	都支出金	14,477	44,600	59,077
	市 債	530,500	1,490,000	2,020,500
	基金繰入金			
	一般財源	104,473	950	105,423

※国庫支出金は社会資本整備総合交付金、都支出金は市町村下水道事業
都費補助金

**◎雨水貯留施設設置事業（北町保育園園庭）
（下水道課）**

（単位：千円）

総事業費		1,485,700		
年 度		25 予算額	26 予定額	計
事業費		608,850	876,850	1,485,700
内 訳	委託料	608,850	876,850	1,485,700
	工事請負費			
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金	198,200	317,250	515,450
	都支出金	9,910	15,860	25,770
	市 債	400,000	543,000	943,000
	基金繰入金			
	一般財源	740	740	1,480

※国庫支出金は社会資本整備総合交付金、都支出金は市町村下水道事業
都費補助金

6 特徴ある事業

目 次

I 健康・福祉

- 住み慣れたまちで暮らし続けるために …………… 21
- 誰もが安心して自立した生活を送るために …………… 22
- 健康づくりは予防から …………… 23

II 子ども・教育

- 笑顔いっぱい！地域参加のすくすく子育て …………… 24
- 多様な主体による待機児童の解消と保育サービスの充実 …………… 25
- 学校の授業が面白い！ …………… 26
- 子どもたちの知性・感性を育む体験を …………… 27

III 文化・市民生活

- 武蔵野から平和を想い、未来へつなぐ …………… 28
- 支え合い、互いに認め合う社会を目指して …………… 29
- 地域における防災の仕組みづくり …………… 30
- 地震に強いまちづくり …………… 31
- 歴史資料館（仮称）の開設に向けて …………… 32
- スポーツ祭東京2013いよいよ開幕 …………… 33
- 都市観光と地域経済の活性化 …………… 34

IV 緑・環境

- 地球にやさしいエネルギー活用 …………… 35
- 平成29年度稼働に向けて新クリーンセンターの建設が始まります …………… 36
- 水と親しみ、緑あふれるまちへ …………… 37

V 都市基盤

- 未来へつなげる下水道の整備 …………… 38
- 歩いて楽しいまち・吉祥寺 …………… 39
- 緑豊かで潤いのあるまちづくり中央地域 …………… 40
- つながる・ひろがる武蔵境 …………… 41
- 武蔵野らしい街並みを保つために …………… 42

VI 行・財政

- 効率的な行政運営と情報発信力の強化 …………… 43

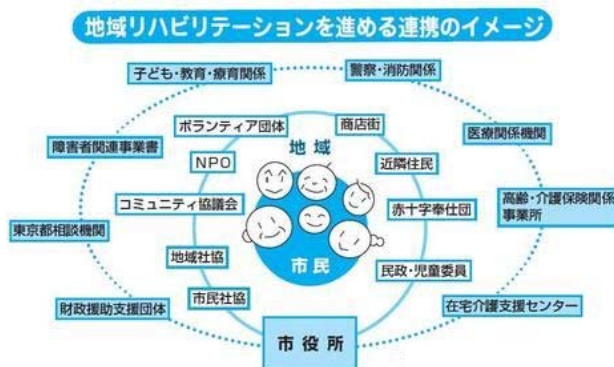
NEW … 新規事業 **LEVELUP** … 拡大・充実事業

住み慣れたまちで暮らし続けるために

すべての市民がその年齢や状態にかかわらず、必要かつ的確な情報、支援を受け、住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域全体で支える仕組みを整える。

1 地域リハビリテーション推進事業

予算額 4,869 千円



年齢や状態にかかわらず、必要かつ的確な情報、支援を受けられるために、保健・医療・福祉・子育て・教育等の連携を高め、支援体制を充実する。市民や関係機関への講演会や研修のほか、福祉関係者への人材育成事業を行う。

《民生費 ○地域リハビリテーション推進事業》

NEW

2 サービス基盤整備事業

予算額 17,500 千円

認知症高齢者や医療ニーズの高い要介護認定者が、住みなれた地域で継続的に生活を送ることができるよう、平成26年度開設に向け小規模多機能型居宅介護（認知症高齢者グループホーム併設型）事業者を公募し、整備費の補助を行う。

《民生費 ○介護保険施設等整備事業》

3 家族介護支援事業

予算額 18,224 千円

在宅で介護をしている家族が介護方法や健康についての知識や技術を得たり、介護家族の交流・情報交換をする機会の提供や家族介護用品の支給事業等による経済的支援など、介護負担を軽減するため支援を行う。

《介護保険事業会計 ○包括的支援事業・任意事業費》

LEVELUP

4 権利擁護事業

予算額 24,423 千円

日常生活における判断能力が低下した場合でも、住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、(財)武蔵野市福祉公社による権利擁護事業及び成年後見制度の利用支援体制を充実する。

《民生費 ○権利擁護事業》

担当：1・4 健康福祉部地域支援課

☎0422-60-1941

2・3 健康福祉部高齢者支援課

☎0422-60-1940

誰もが安心して自立した生活を送るために

障害の有無にかかわらず、誰もが地域社会の中で自立した生活を送るため各事業を実施する。

LEVELUP

1 相談支援体制の強化

予算額 94,295 千円

地域療育相談室ハビットや生活リハビリサポートすばるの人員体制強化や相談支援専門員を確保し、各種相談支援体制の強化を行いサービス等利用計画の作成を進め、障害児(者)等の自立した生活を支援する。

≪民生費 ○障害者自立支援給付等事業≫
≪民生費 ○みどりのこども館管理運営事業≫
≪民生費 ○リハビリテーション事業≫



▲みどりのこども館入口モニュメント



NEW

2 障害者実態調査

予算額 3,917 千円

当事者及び家族の生活環境、意識、ニーズ等を的確に把握することにより、市民サービス向上を図り、また障害者計画改定にあたっての基礎資料とするために身体障害者手帳所持者等を対象にアンケート調査、分析を行う。

≪民生費 ○一般管理経費≫

担当：健康福祉部障害者福祉課

☎0422-60-1904

健康づくりは予防から

各種予防接種を実施し、疾病の発生と蔓延を予防する。また、がん検診受診率を向上させることにより、がんの早期発見・早期治療につなげ、市民のがんによる死亡リスクを低下させる。

1 予防接種事業

予算額 357,295 千円

疾病の発生及び蔓延を予防するため、四種混合(ジフテリア、百日ぜき、破傷風、不活化ポリオ)、麻しん風しん、日本脳炎等のワクチン接種を実施する。

《衛生費 ○予防接種事業》



2 がん検診受診率向上事業

予算額 4,409 千円



昨年度実施した意識調査の結果をもとに、年齢や受診歴等、対象者の特徴を踏まえた受診勧奨を行うなど効果的な方法を採用入れ、受診率の向上を図る。

《衛生費 ○老・成人保健事業》

担当：健康福祉部健康課

☎0422-51-0700

笑顔いっぱい！地域参加のすくすく子育て

地域社会全体の連携により、子どもが健やかに育つとともに、子育て家庭が子どもの成長に喜びと生きがいを感じ、安心して子育てをしていくための施策を進める。

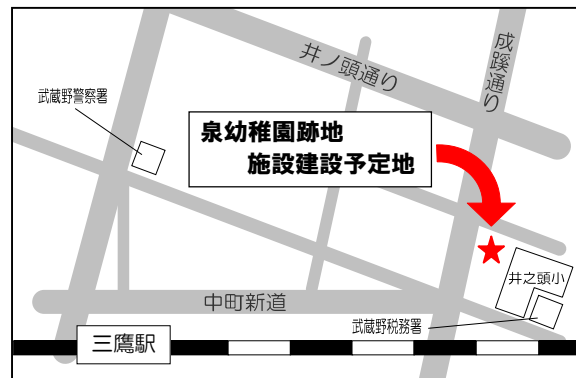
NEW

1 泉幼稚園跡地利用施設の建設

予算額 192,636 千円

子どもの健やかな成長と親の子育て力の向上を図るため、平成26年7月の開園に向けて、泉幼稚園跡地に地域参加型の子育て支援施設を建設する。ひろば機能、グループ保育機能、早朝・夜間・宿泊を含む一時保育サービス機能を展開していく。

《民生費 ○泉幼稚園跡地利用施設事業》



LEVELUP

2 すくすくスタート事業／ まちぐるみ子育て応援事業補助金

予算額 2,345 千円

<すくすくスタート事業>

子育てステーション制度は、平成24年度のモデル事業の実施を経て、すくすくスタート事業に再編する。妊娠期から乳児期の子育てをしている家庭を対象として、地域から孤立せず、不安を解消できるような事業を保育園などで展開する。

<まちぐるみ子育て応援事業補助金>

子育て応援パスポートの検討からさらに発展させ、子育て家庭を地域で応援し支えていく気運の醸成を目指し、店舗・企業・NPOなどの民間団体によるまちぐるみで子育てを応援する取り組みへの補助金を創設する。

《民生費 ○子育て支援事業》



担当： 1 子ども家庭部子ども家庭課 ☎0422-60-1851
2 子ども家庭部子ども家庭課(子ども家庭支援センター) ☎0422-60-1239

多様な主体による 待機児童の解消と保育サービスの充実

認可保育所、認定こども園、認証保育所など、多様な主体による保育サービスを展開することにより定員を拡充し、待機児童の解消を図る。

NEW LEVELUP

1 待機児童対策の推進

予算額 1,592,350 千円

<認証保育所の誘致>

今春に開設する認証保育所グローバルキッズコトニア吉祥寺園の運営費の補助、平成26年度に開設予定のJR武蔵境駅西側高架下認証保育所の開設準備経費の補助を新たに行う。

〈民生費 ○認可外保育施設助成事業〉

<(公財)子ども協会による保育園・認定こども園の運営>

平成25年4月に市立保育園3園(桜堤、東、境南第2)の設置・運営主体を(公財)武蔵野市子ども協会へ移管する。今春竣工予定であった境こども園は、園舎ができるまでの間、市民会館及び児童館にて保育を実施する。北町保育園については定員の拡充が行われ、これらの施設と千川保育園を併せて、施設の管理運営及び保育事業に関する経費の委託と補助を行う。

〈総務費 ○私立幼稚園等助成事業〉
〈民生費 ○認可外保育施設助成事業〉
〈民生費 ○保育所運営委託事業〉



▲北町保育園完成イメージ

LEVELUP

2 認可外保育施設入所児童 保護者助成金の拡充

予算額 95,740 千円

認可外保育施設入所児童保護者助成金の対象施設をグループ保育室まで拡充するとともに、補助額の上限を月額30,000円に引き上げ、所得階層による助成額を設定する。

〈民生費 ○認可外保育施設助成事業〉

担当：子ども家庭部保育課

☎0422-60-1854

学校の授業が面白い！

小・中学校において、ICTを活用した質の高い授業、きめ細やかな指導による学習環境の整備、不登校を防止する取組み、個別の教育ニーズに応じた適切な支援等を行い、児童・生徒の確かな学力の向上と個性の伸長を目指した教育を推進する。

LEVELUP

1 ICTを活用した教育の推進

「分かる授業」「興味・関心を引き出す授業」を行うとともに、児童・生徒の情報活用能力を伸ばすために、小学校12校に書画カメラ・プロジェクター・電子黒板等のICT機器を増設し、中学校2校(モデル校)の普通教室に無線LAN環境を構築し教育用コンピュータを導入する。

《教育費 ○情報教育指導》

予算額 15,466 千円



▲電子黒板を活用した授業

2 学習指導員の配置

少人数指導(学級内又は学級の枠を越えた個別指導やグループ指導)、学習支援教室(日常の授業に関する補足的な学習指導)、小一プロブレムへの対応等に学習指導員を配置し、きめ細やかな学習指導の充実を図る。

《教育費 ○児童生徒指導》

予算額 30,918 千円

3 学校と家庭の連携推進事業

東京都の「学校と家庭の連携推進事業」を活用し、不登校傾向にある児童・生徒に対し、学校・家庭・地域・関係機関が連携して支援を行う。

《教育費 ○教育相談事業》

予算額 1,197 千円

LEVELUP

4 情緒障害等通級指導学級の設置

学校生活にうまくとけ込めない、学習が思うように進まない、友だちとコミュニケーションがとりづらい子どもたちなどを対象に、普段は地域の学校で学習し必要に応じて通う学級を、井之頭小学校に新設する(平成26年4月開級予定)。

《教育費 ○情緒障害学級運営》

予算額 30,544 千円

担当: 1	教育部指導課	☎0422-60-1253
2	〃	☎0422-60-1897
3	教育部教育支援課(教育支援センター)	☎0422-60-1899
4	教育部教育支援課	☎0422-60-1908

子どもたちの知性・感性を育む体験を

子どもたちが文化活動やスポーツ・野外活動を通して、新たな発見や驚きを肌で感じることで、豊かな心や感性を育み、心身ともに健康な体をつくる。

NEW

LEVELUP

◎ 子ども文化・スポーツ体験活動事業

予算額 1,920 千円

<次世代担い手育成キャンプ>

中高生対象の自然体験事業。様々なキャンプ技術に挑戦する。さらに、活動時の安全管理や注意事項など、ジャンボリー等の自然体験活動の際にリーダーとして大切な基礎知識を学ぶ。《総務費 ○青少年活動育成事業》

<親子 de サイエンス>

親子で実験を行い、科学への興味と理解を深める。小学校低学年は大野田小学校で身近にある科学を楽しく実験し、高学年は成蹊大学の充実した施設で指導を受ける。《教育費 ○学級・講座開催事業》



▲親子 de サイエンス



▲むさしの発見隊

<むさしの発見隊>

「自然と歴史の融合」をテーマに、地域の特性を活かした講座を実施し、武蔵野市の魅力を親子で発見する(小学生の親子対象)。

《教育費 ○学級・講座開催事業》

<文化財活用講座>

市内の文化財を題材に体験講座を行い、文化財の面白さを知り、興味を深める。

《教育費 ○文化財保護普及事業》

<自然観察ハイキング>

奥多摩、三頭山の豊かな自然とふれあいながらハイキングをすることで、体力の向上、仲間作り、自然観察の楽しさなどを学ぶ(小学校高学年対象)。

《教育費 ○一般管理経費》

担当： 子ども家庭部児童青少年課
教育部生涯学習スポーツ課

☎0422-60-1853

☎0422-60-1902

武蔵野から平和を想い、未来へつなぐ

市民に戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えるため、平和に関する学習・交流を推進するとともに、戦争体験の伝承を継続し、平和啓発事業を推進する。

◎ 平和啓発事業

予算額 2,661 千円

11月24日の『武蔵野市平和の日』を記念して非核都市宣言平和事業実行委員会とともにパネル展や講演会等の平和事業を実施する。

武蔵野の戦争の歴史を風化させることなく次世代に継承していくため、市内の戦争遺跡に平和案内説明板を設置する。また、映像による戦争体験証言記録を作成する。

《総務費 ○平和・憲法啓発事業》



▲三鷹駅前の世界連邦平和像



▲昨年11月24日に行われた平和の日イベント

担当：市民部市民活動推進課

☎0422-60-1829

支え合い、互いに認め合う社会を目指して

多様なコミュニティづくりを進めるため、地域のつながりや本市にふさわしいコミュニティのあり方が、市民の間で共有できるように検討していく。また、互いに尊重し認め合う社会を目指し、男女共同参画を推進するため、第三次男女共同参画計画を策定する。

1 地域のつながりの共有と コミュニティセンターの機能の検討

予算額 3,000 千円

平成24年度に実施したコミュニティ基礎調査の結果をもとに、本市にふさわしいコミュニティを実現するための方策、コミュニティセンターの機能や役割、管理・運営のあり方について、市民、学識経験者、地域団体関係者、コミセン関係者等で構成する委員会で検討を行う(25～26年度)。検討の過程では、市民との議論を深める手法を取り入れる。

《総務費 ○コミュニティセンターの管理運営・コミュニティ活動》



▲昨年12月に行われた市民ワークショップ



▲昨年12月にオープンした新しい八幡町コミュニティセンター

2 第三次男女共同参画計画策定

予算額 2,704 千円

本市における男女共同参画を総合的・計画的に推進するため、男女共同参画推進委員会(平成24年10月～平成25年9月)からの提言を基に本市計画案を作成し、パブリックコメントを行ったうえで、平成26年2月を目途に第三次男女共同参画計画を策定する。なお、本計画に『配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画(DV基本計画)』を盛り込む予定。

《総務費 ○男女共同参画推進委員会》

担当: 1 市民部市民活動推進課 ☎0422-60-1830
2 " ☎0422-60-1869

地域における防災の仕組みづくり

ハードとソフトの両面から「自助、共助、公助」の取り組みの強化と多様な主体の連携を深め、市民や来街者が安心して過ごせる環境づくりを行う。

LEVELUP

1 地域における防災の推進

予算額 6,413 千円

武蔵野市地域防災計画(平成25年修正)を広く周知するため、関係機関との計画内容の共有、防災ハンドブックの全戸配布、防災シンポジウム等を行い、地域の防災力を高める。

≪消防費 ○一般管理経費≫
≪消防費 ○防災啓発事業経費≫

LEVELUP

2 災害に備えた都市基盤の整備

予算額 610,004 千円

① 防火水槽の設置 ≪消防費 ○防火水槽・消火栓新設等事業≫

震災時の同時多発火災から市民の生命と財産を守るため、防火水槽(耐震性貯水槽)を4基設置する。

② 災害用トイレの設置 ≪消防費 ○防災施設整備事業≫

ライフラインが寸断された際に備えて、一時集合場所・避難所となる市立学校に災害用トイレを整備し、衛生環境の向上を図る。第三小、第四小、千川小及び第二中の4校に各10基(だれでもトイレ2基を含む)を設置する。



▲災害用トイレ

③ 配水管網整備の推進 ≪水道事業会計≫

災害時にも安全でおいしい水が安定的に供給できるように、配水管の新設や老朽管の更新などを行い、上水道配水管路の耐震化を推進する。

LEVELUP

3 自主防災組織への支援の充実

予算額 1,747 千円

地域で活動している自主防災組織に対し、災害時の活動に必要な資機材などの支給及び貸与を行う。

≪消防費 ○防災啓発事業経費≫

LEVELUP

4 吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策

予算額 1,533 千円



▲ 東日本大震災発生後の吉祥寺駅
提供：(株)JCN 武蔵野三鷹

吉祥寺駅周辺の事業者、交通機関、警察、消防、行政などで構成する吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会による「吉祥寺駅周辺混乱防止ルール」を検証するため、まちぐるみでの帰宅困難者対策訓練を実施する。

≪消防費 ○防災訓練事業≫

担当：1～4 防災安全部防災課 ☎0422-60-1821
※2-③を除く
2-③ 水道部工務課 ☎0422-52-0735

地震に強いまちづくり

地震発生時において、特定緊急輸送道路の沿道建築物の倒壊による道路の閉塞を防ぎ、広域的な避難路及び輸送路を確保する。また、合わせて市内の民間住宅等の耐震化を促進する。

LEVELUP

1 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業

予算額 238,856 千円

特定緊急輸送道路の沿道建築物の所有者に対し、耐震診断・補強設計・耐震改修・建替え・除却に係る費用の全部もしくは一部を助成する。

《土木費 ○住宅対策事業》



▲市内の特定緊急輸送道路

LEVELUP

2 民間住宅等耐震化事業

予算額 52,628 千円



市内の民間住宅等の耐震化に関わる窓口相談、耐震アドバイザーの派遣を行うとともに、耐震診断・補強設計・耐震改修に係る費用の一部を助成する。

《土木費 ○住宅対策事業》

担当：都市整備部住宅対策課

☎0422-60-1905

歴史資料館(仮称)の開設に向けて

本市の歴史を未来へ継承するとともに、地域の歴史を学ぶ拠点とするため、旧西部図書館を歴史資料館(仮称)として再整備する。

NEW

◎ 歴史資料館(仮称)の整備

予算額 26,600 千円

市民が利用可能なスペースを備えた、公文書、古文書、民俗資料、その他資料を収集・保存・公開する施設を、平成26年4月の開館を目指し、設計・改修を行う。

《教育費 ○歴史資料館開設準備事業》



▲旧西部図書館



▲民俗資料見学会の様子

担当：教育部生涯学習スポーツ課

☎0422-60-1902



スポーツ祭東京2013 いよいよ開幕

スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）を、関係機関・団体との緊密な連携のもと、市民との協働により実施する。

LEVELUP

◎ 国体・障害者スポーツ大会推進事業

予算額 63,694 千円

① 競技会の開催



【国民体育大会】

- ・ウォーキング 9/16 武蔵野中央公園(スタート・ゴール)
- ・ラグビーフットボール 9/29～30 武蔵野陸上競技場
- ・バスケットボール 10/4～8 武蔵野総合体育館

【全国障害者スポーツ大会】

- ・グランドソフトボール 武蔵野中央公園
リハーサル大会 5/26
本大会 10/12～14



② 市民等へ広報活動の推進

③ 大会運営ボランティア、観光案内ボランティア、花いっぱい運動など市民活動の推進



▲ラグビーフットボールリハーサル大会



▲バスケットボールリハーサル大会



▲ゆりーとダンス ♪

≪教育費 ○国体・障害者スポーツ大会推進事業≫

担当：教育部生涯学習スポーツ課

☎0422-60-2013

都市観光と地域経済の活性化

市内への来街者の増加を促し、まちの活性化をより効果的に進めるために、各種施策を実施する。

NEW

1 産業振興計画(仮称)策定支援

予算額 6,500 千円

市内の産業について、体系的に施策を推進するための方針を策定する。産業振興計画(仮称)案の作成を諮問するため、策定委員会を設置し検討を行う。

《商工費 ○商工振興事業》

LEVELUP

2 小規模企業者等事業資金利子補給事業の強化

予算額 68,955 千円

厳しい業況、資金繰りの中小企業の状況に対応し、経営の安定と事業の発展を図るため、事業資金融資あっせん制度の対象事業者の規模を拡大し、あわせて融資利率等の見直しを行う。

《商工費 ○利子補給等事業》

LEVELUP

3 観光推進事業の強化

予算額 38,245 千円

本市の都市観光の推進体制を強化するため、武蔵野市観光推進機構の独立化(法人化)に対し支援を行う。また、吉祥寺駅の改良工事に合わせ「まち案内所(仮称)」を設置し、来街者へ吉祥寺など武蔵野市の魅力を伝える。

《商工費 ○観光振興事業》



▲吉祥寺北口駅前の様子

担当：市民部生活経済課

☎0422-60-1832

地球にやさしいエネルギー活用

省エネ・創エネおよび温室効果ガスの排出削減に向けた取組みを総合的および計画的に推進する。

LEVELUP

1 多様な資源の効率的利用モデル検討

予算額 4,000 千円

新たなエネルギー活用検討委員会での検討を踏まえ、多様な主体による連携を進めながら、市域全体や個別エリアにおいてエネルギー需給を効率化するシステム等について検討を行う。

《衛生費 ○環境対策推進事業》

2 太陽光発電システム等設置・促進事業

予算額 54,030 千円

<公共施設>

公共施設に太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギーの普及や環境教育への活用、公共施設の防災機能の強化を図る。

- ・設置施設：市立第一中学校(校舎屋上)
- ・設備容量：30kW
- ・年間発電量(予定)：30,000kWh



▲学校屋上の太陽光発電パネル

<住宅>

太陽光発電システム等の設置を促進し、市域の二酸化炭素排出量を削減するため、市民が住宅用の太陽エネルギー利用設備や高効率給湯設備の設置を行った場合の費用の一部を助成する。

《衛生費 ○環境対策推進事業》

3 LED街路灯事業

予算額 10,000 千円



▲LED 街路灯

環境負荷の低減及び省エネ・省資源化を図るため、小型水銀灯59基のLED化を実施する。

《土木費 ○街路灯維持管理》

担当：1・2 環境部環境政策課 ☎0422-60-1841
3 都市整備部道路課 ☎0422-60-1857

平成29年度稼働に向けて

新クリーンセンターの建設が始まります

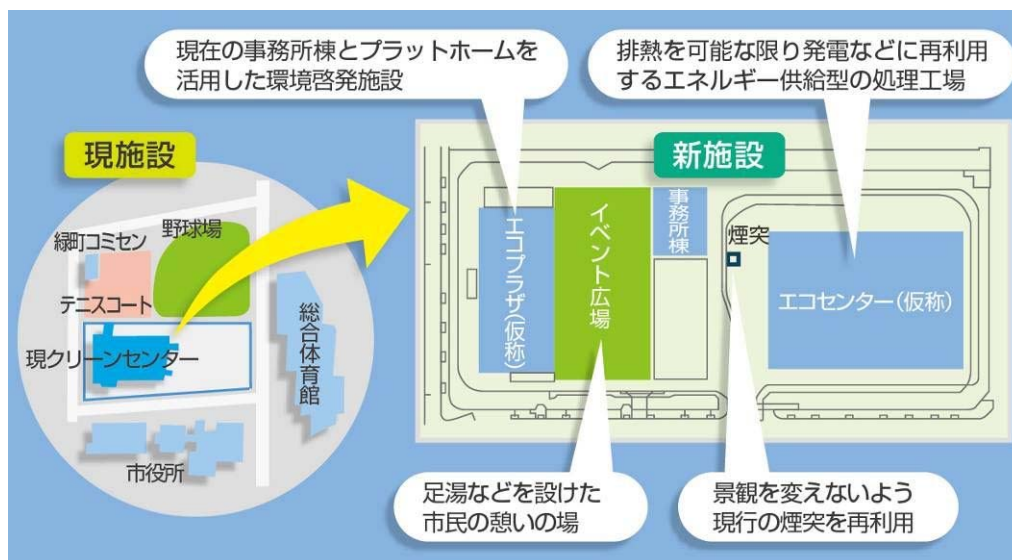
現クリーンセンターが耐用年数を迎えることから、安全で安定的なごみ処理を継続していくため、平成29年度稼働に向けて新施設を建設する。また、新クリーンセンターの整備、運営を円滑かつ安定的に進めるため、施設周辺住民及び市民の新施設に対する理解と信頼を深める。

1 新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業

予算額 259,252 千円

平成26年度からの本体工事着工に向けて、設計及び工事予定地内の工作物解体・撤去・移設等の工事を実施する。

《衛生費 ○新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業》



2 新武蔵野クリーンセンター(仮称) 施設・周辺整備事業

予算額 17,512 千円

施設・周辺整備協議会の報告や地域住民等の意見を踏まえながら、引き続き施設・周辺整備の検討を進める。また、クリーンセンターやごみ処理に関する広報・啓発を目的として、ごみ減量・環境啓発イベントや講座を実施する。

《衛生費 ○新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業》

担当：環境部クリーンセンター

☎0422-54-1221

水と親しみ、緑あふれるまちへ

市内の公園や緑地等の緑の拠点となる施設を整備し、更なる緑化の推進と緑のネットワーク化を図る。また、生態系に配慮した水辺空間の保全・再生により、緑豊かな住環境を整備する。

◎ 水と緑のネットワーク事業

予算額 1,313,563 千円

<緑の拠点>

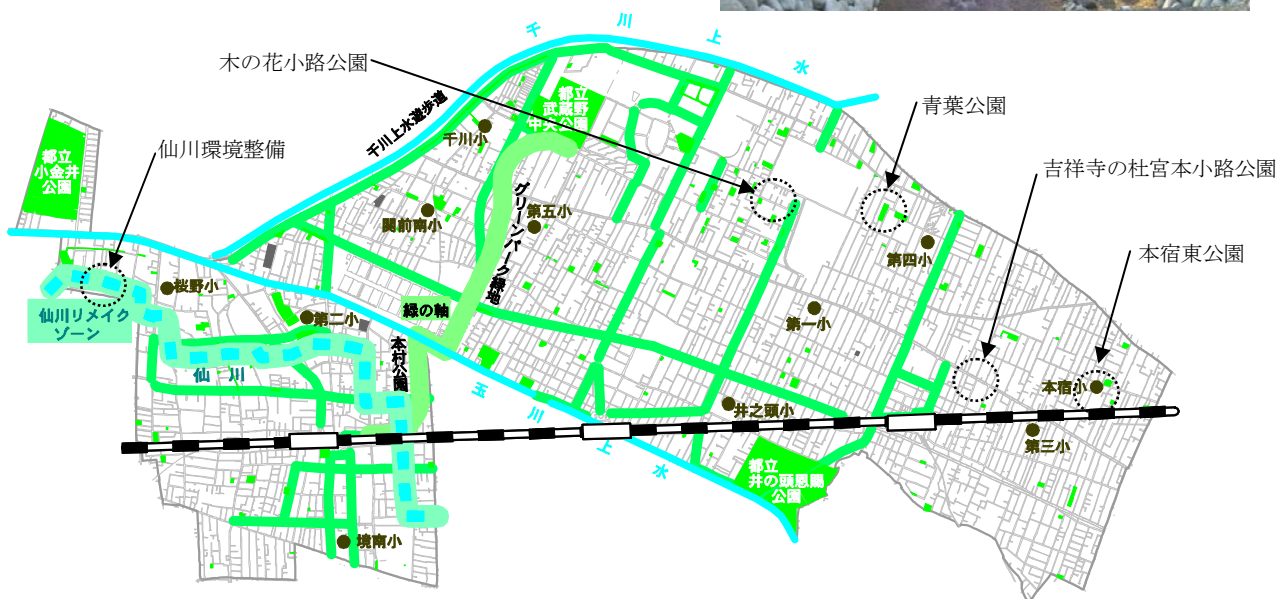
- ・ 公園施設の整備をし、2,900㎡の拡充を行う。主な公園は、吉祥寺の杜宮本小路公園、木の花小路公園、本宿東公園の広場等。
- ・ 公園用地として、1,900㎡を取得する。用地を取得する公園は、吉祥寺の杜宮本小路公園、木の花小路公園、青葉公園。

◀土木費 ○公園等建設事業▶

<水辺環境>

一級河川の仙川を身近な自然の回復と保全に向け環境整備、維持管理等を行う。

◀土木費 ○仙川水辺環境整備事業▶



▲水と緑のネットワーク将来像

担当：環境部緑のまち推進課
☎0422-60-1864

未来へつなげる下水道の整備

未処理下水（汚水混じりの雨水）の河川への流出抑制、集中豪雨などによる都市型水害の軽減、地下水その他自然環境の保全・回復を目的に、公共施設および民間施設への雨水貯留施設、雨水浸透施設等の設置を進める。また、老朽化した管きよの更生工事により長寿命化を行う。

LEVELUP

1 合流式下水道改善施設設置事業

予算額 3,447,000 千円

合流式下水道の河川の吐口からの越流水の対策を行い、公共水域の環境負荷の低減を図る。

- ① 吉祥寺東町一丁目 約8,500㎡の貯留施設を平成24年度に引き続き整備する。
- ② 神田川排水区 約1,000㎡の貯留施設を整備する。

◀下水道事業会計 ○公共下水道建設事業▶

LEVELUP

2 浸水対策事業

予算額 690,950 千円

近年増大しているゲリラ豪雨による都市型水害の軽減を図り、地下水その他自然環境の保全及び回復に資することを目的に実施する。

- ① 市立第一中学校に600㎡の雨水貯留浸透施設を設置する。善福寺川排水区の12校全てに設置完了となる。
- ② 吉祥寺北町地区の浸水被害を軽減するために北町保育園建替えに合わせ4,500㎡の雨水貯留槽を設置する。
- ③ 雨水浸透施設及び雨水タンクを設置する者に対して助成金を交付し、治水、利水、水循環の推進を図る。



▲学校の校庭に整備される雨水貯留浸透施設

◀下水道事業会計 ○一般管理経費、○公共下水道建設事業▶

NEW

3 女子大通り幹線管きよ更生工事

予算額 217,300 千円

武蔵野市下水道長寿命化計画に基づき、本市の広範囲の処理区を受け持つ主要な管きよである女子大通り幹線の長寿命化を図る。平成25～29年度までの5カ年で、女子大通り幹線約800mの管きよの更生工事を行う。

◀下水道事業会計 ○公共下水道建設事業▶

担当：環境部下水道課

☎0422-60-1868

歩いて楽しいまち・吉祥寺

「歩いて楽しいまち・吉祥寺」をさらに進めるため、歩行者の回遊性の向上および安全で快適な歩行環境とともに、安心して利用できる公衆トイレの整備を行う。

LEVELUP

1 吉祥寺駅改良整備事業

予算額 734,143 千円

南北自由通路の拡幅・直線化により、駅南北回遊動線の円滑化、まちの骨格軸の形成を図るとともに、北口駅前の歩道上公共空間整備を行い、回遊性の向上を図る。

- ・南北自由通路整備 W=8.4~16m、L=60m
- ・北口歩道上公共空間整備 W=6.3m、L=104m

《土木費 ○吉祥寺駅改良整備事業》



▲完成後の南北自由通路のイメージ



▲吉祥寺駅北口イメージ

2 吉祥寺駅北口駅前広場機能の更新

予算額 12,000 千円

平成25年度末に完成予定である吉祥寺駅改良事業に伴い、吉祥寺駅への来街者及びバス利用者が安全で快適に歩行できる環境を目指し、北口駅前広場の機能更新に関する実施設計を行う。

《土木費 ○吉祥寺駅北口駅前広場整備事業》

NEW

3 ミカレット吉祥寺新設

予算額 48,917 千円

利用者が安心して清潔で快適に利用できる公衆トイレを提供するため、京王吉祥寺駅ビルの建替えに伴い、ミカレット吉祥寺を京王井の頭線の高架橋下に設置する。

《衛生費 ○公衆便所の維持管理》

担当： 1・2 都市整備部吉祥寺まちづくり事務所 ☎0422-21-1118
 3 環境部ごみ総合対策課 ☎0422-60-1802

緑豊かで潤いのあるまちづくり 中央地域

緑豊かな駅前広場を中心とした商業・業務地と、近接する良好な住宅街との調和を大切に、三鷹駅周辺にふさわしい街並みを創出する。また、道路のバリアフリー化により人に優しい歩行環境の整備を行う。

1 都市計画道路7・6・1号線 (御殿山通り)事業

予算額 91,750 千円

三鷹駅から井の頭公園へのアクセス道路として、玉川上水の景観に配慮した歩行者に優しい快適な道路整備を図るため、道路プランの検討及び電線類地中化工事を実施する。

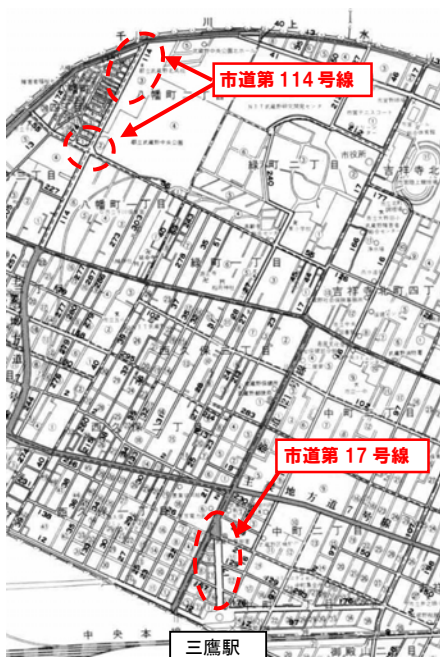
《土木費 ○都市計画道路7・6・1号線事業》



NEW

2 交通バリアフリー事業

予算額 40,750 千円



武蔵野市バリアフリー基本構想に基づき、重点整備地区の安全な歩行環境の整備を図る。

<市道第17号線(中央大通り)>

- ・ベンチの設置4基
- ・視覚障害者用誘導ブロック設置500m

<市道第114号線(伏見通り)>

- ・視覚障害者用誘導ブロック設置460m
- ・車道部切削補修2,210㎡

《土木費 ○道路新設改良事業》

担当：都市整備部道路課

☎0422-60-1855

つながる・ひろがる武蔵境

鉄道連続立体交差事業に伴い、交通環境の改善による南北一体化のまちづくり、地域の活性化を進めるため、駅周辺の施設・道路などの整備を行う。

1 武蔵境駅周辺整備事業

予算額 1,755,100 千円



▲武蔵境駅北口整備後のイメージ

武蔵境駅北口広場の整備をはじめ、誰もが利用しやすい武蔵境駅周辺の環境を整備するため、用地の買収、道路整備工事、電線類地中化工事等を実施する。

◀土木費 ○都市計画道路3・3・23号線事業
○武蔵境駅舎周辺環境整備事業
○都道123号線拡幅整備事業
○武蔵境地区区画道路整備事業▶

2 鉄道連続立体交差事業

予算額 335,529 千円

JR中央本線・西武多摩川線の踏切の除却による交通渋滞の解消により、南北一体化のまちづくりと地域の活性化を図る。また、側道(武鉄中付)の整備を行う。

<鉄道連続立体交差事業>

- ・ 鉄道連続立体交差事業の道路整備等に伴う負担金
- ・ 鉄道を交差する道路部分の整備
- ・ 市有地を活用した公共施設空間の整備

<武鉄中付第3号線整備事業>

- ・ 電線類地中化に伴う引込管工事

◀土木費 ○鉄道連続立体交差事業、○武鉄中付第1、第2、第3号線事業▶



▲現在の武蔵境駅

担当: 1 都市整備部武蔵境開発事務所 ☎0422-52-0151
2 都市整備部まちづくり推進課 ☎0422-60-1870
都市整備部道路課 ☎0422-60-1855

武蔵野らしい街並みを保つために

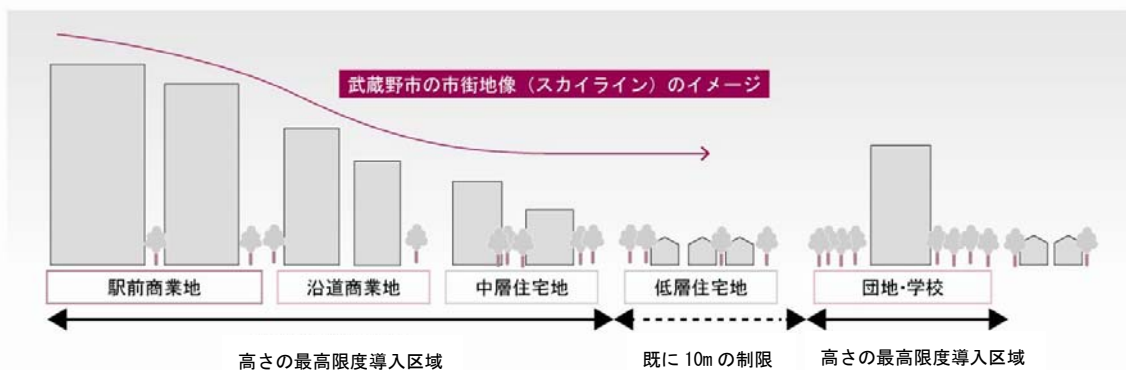
建築物の高さの最高限度の導入、景観ガイドラインの策定に向けた啓発、美しい道路景観・歩いて楽しい道づくり等により、武蔵野らしい美しい街並みを形成する。

1 建築物の高さの最高限度の導入

予算額 6,505 千円

街並み及び住環境の保全を目的として、建築物の高さの最高限度の導入について検討を行う。市民説明会の開催や都市計画審議会での審議等を踏まえ、都市計画高度地区の変更案を作成し、手続きを進める。

《土木費 ○一般管理経費》



NEW

2 景観まちづくりの展開

予算額 1,000 千円

良好な住環境と調和の取れた街並みの形成を進めるため、市民やまちづくり団体との連携を図りながら、景観ガイドラインの策定に向けて、講演会を実施するなど普及啓発を行う。

《土木費 ○一般管理経費》

3 景観道路事業

予算額 136,300 千円

市道第2号線(末広通り)及び市道第151号線(七井橋通り)の電線類地中化の工事を行う。また、今後整備する路線の道路プランについて検討を進める。

《土木費 ○景観道路事業》

担当：1・2 都市整備部まちづくり推進課
3 都市整備部道路課

☎0422-60-1872
☎0422-60-1855

効率的な行政運営と情報発信力の強化

限られた資源を効率的・効果的に活用し、将来にわたり健全かつ持続可能な市政運営を図るとともに、新しいメディアに対応した情報発信力の強化を図る。

LEVELUP

1 公共施設再編の検討

予算額 840 千円

多くの公共施設の老朽化が進む中、時代のニーズに応えながら市民生活を支える施設サービスを安定して提供するため、公共施設の再編を検討する。

〈総務費 ○企画調整〉

LEVELUP

2 財政援助出資団体の在り方の検討

予算額 7,820 千円

活力ある地域社会を形成するとともに、自治体総体の経営力を高めるため、公共課題を解決する主体の多様化を踏まえ、行政や財政援助出資団体が担うべき役割を精査し、必要な見直しを行う。

〈総務費 ○企画調整〉

LEVELUP

3 新しいメディアへの対応・活用 による広報の推進

予算額 1,922 千円

市ホームページのスマートフォン端末への対応及びソーシャルメディアのさらなる活用などにより、利便性の向上、発信力の強化を図る。

- ・ スマートフォンで市ホームページを閲覧した場合に画面を適正化する機能を追加する。
- ・ ソーシャルメディアの広報への活用をさらに拡大する。

〈総務費 ○広報活動〉

4 事務事業見直し・補助金見直し

削減額 404,830 千円

事務事業の見直し、職員定数の適正化、補助金の見直し及び枠配分予算の実施に伴い、4億483万円の経費削減を実現した。

担当： 1・2 総合政策部企画調整課 ☎0422-60-1801
3 総合政策部秘書広報課 ☎0422-60-1804
4 総合政策部企画調整課 ☎0422-60-1801
財務部財政課 ☎0422-60-1803